

ヨーク大学日本語科二学年読 解・会話教材
AP/JP2000 6.0 Reading Comprehension and Dialogue
Lesson 35: Touche 2
第 35 課 「一本取られた (その二) 」

「読解」 Reading Comprehension

学生時代に付き合ったり、知り合いになった中国人、韓国人、ベトナム人、タイ人などアジアの女性は、個性的で、本当に男の扱い方を知っているなど感心させられる女性ばかりであった。最大の魅力は、彼女達の変わり身であろうか。これは、日本人の女子学生によくする話であるが、自分の観察と偏見では（しかられそうなのではっきり断っておくが）、日本人女性は、比較的、着るものも、装身具も、化粧の仕方もみんな同じようで、個性的でないことと、いつも同じで変化に乏しいことが問題である。いくら美人でも、毎日毎日同じのを見ていたら、飽きが来るのは当然である。この点、アジアの女性には常に新鮮さを保とうとする努力が見られる。

また香港の彼女の話に戻るが、実は、私は、初めから彼女に興味を持っていた訳ではなく、別の中国人の女性にひかれていたのである。グループで色々活動をしていて知り合いになった女性であるが、よくあるケースで、周りから、「何とかさんは君のことが好きだぞ」などとおだてられて、こちらもその気になったのであるが、彼女の場合も非常に大人で、こちらが、意を決して告白すると、「私も太田さんが好きだけれど、もうすぐ卒業して香港に帰ってしまうので時間がない」というようにこちらの気持ちを傷つけないように断られた。それは嘘ではなかったが、後で分かったことは、彼女にはアメリカ人のボーイフレンドだかフィアンセがいたらしい。ここで軽い失恋。

それから、しばらく経って、ある日ふと気が付くと、もう一人の中国人女子学生が、いつも私の側にいたのである。グループで出かけたりにしている仲間に入っていたのだが、それまでは、全く興味もなく見向きもしていなかった女性である。付き合うようになって、後で彼女から「ひどい人だった」となじられたことがあるが、帰りが遅くなった時などは、私の男の友人に彼女を寮まで送っ

てもらったりしたほど、全く関心がなかったのだが、こちらの心の隙間にすっと入ってきた。

彼女が好意を持っていてくれることは分かったが、なかなか意思表示が出来ないでいると、私の誕生日にメール・ボックスに彼女からの手作りのカードとプレゼントが入っていた。カードには切りぬいた四つ葉のクローバー、これは愛情のシンボルである、が私の歳の数だけ貼られてあり、書かれている言葉は、「太田さんに会えて自分は本当に幸せです。」 私は、これで有頂天、早速初めてのデートに彼女を誘った。当時、イギリスの劇団が日本で、チャールズ・ディケンズの「オリバー・トゥイスト」を上演していたので、それに誘うと非常に喜んでくれた。場所は確か銀座の飯野ホールだったと思うが、私も少しいい格好をして彼女の寮に迎えに行った。出てきた彼女を見て、びっくり。それまでは、化粧っ気の全くない、飾らない女性であったのが、薄化粧をして、イヤリングをつけ、自分で作った長いスリットのある中国風のドレスを着て出てきたのである。すごい変身で、まったく見違えてしまった。飯野ホールに着いて、ドアを開けて中に入ると、その辺にいた男性諸君が一斉に彼女の方を見たほどエキゾチックで素敵であった。こちらも鼻高々。ざまを見ろである。

ところが、翌日の月曜日に会うと、またお化粧っ気の全くない普通の女の子に早変わりなのである。この落差は、それ以後も何とも言えず魅力的であった。

もう一つ感心させられたことは、いつも緊張感を保つ努力をしていることであろうか。初めに会った時から私のことが好きだった、いつか自分の方を向いてくれるだろうと思っていたと言われて、彼女の一途な気持ちがうれしかった。ところが、付き合ってからしばらくたって、こちらが彼女はもう自分のものだと思っていると、ある日デートの時に、先週の週末は、だれだれさんと映画を見に行ったなどと言うのである。もちろんこのだれだれさんは男性である。こちらもびっくりして、嫉妬を感じたり、心配させられたりしたが、彼女の態度には全く変化がないので、大分後になって、何であんなことを言ったのか聞くと、「太田さんに安く思われなくなかったから」という答えが返ってきた。向こうから好きになった弱みがありながら、自尊心を保とうとしたらしい。長く付き合っていると、何でも当たり前になりがちであるが、そこに新鮮

な風を吹き込んでくれるような行為が、さりげなくできるというのは、すごい。では、いつもこのようにクールかというと、そうではなく、こちらに本当に心配させない心遣いも、真摯で、情熱的な態度で示してくれる。これで、馴れ合いの関係でない、付かず離れずの緊張関係が持続できたように思う。ここでも、また一本取られたと思った。

彼女は、夏休みに香港に帰る時に船を選んだのだが、横浜に送って行く途中、電車の中で、「もう一生会えないかもしれない」と言ってぼろぼろ泣くのである。周りにいた日本人はどう思ったか分からないが、こんなに感情を素直に出せるのは、うらやましいと思ったほどである。

私たちは、大学始まって以来初めての中国人女子学生と日本人男子学生のカップルということで、私たち二人は、中国人の教授から、呼び出されて、真面目に付き合っているのかなどと詰問されたので、元々鼻っ柱の強い私は、頭に来て、「先生には関係ないことでしょう」と答えたが、これは四十年前の話である。当時は、中国側では、まだ、第二次大戦の記憶も薄れておらず、彼女から真顔で、「もし日本と中国がまた戦争をしたら、あなたはどうする」と聞かれてびっくりしたが、香港に帰って、父親から、戦争中におばさんが二人日本軍に殺された話を聞き、「もしこの若い日本人と結婚するなら、勘当する」と言われたとのこと。それでも、日本に戻って来て、十日ほどいっしょに過ごしたが、結局、彼女は私との結婚をあきらめたらしく、カリフォルニア大学に転校して行ってしまった。こちらは初めて結婚しようと思った相手なので、彼女に置いてきぼりにされて、大失恋の痛手を受けた。それでも、彼女との恋愛経験を通じて、異文化間コミュニケーションにおける交際に関してずいぶん勉強になった。皆さんにも、大いに恋をして、異文化を超えた交際をしてもらいたいものだと思っている。

「会話」 Conversation

[料理屋で]

民夫： 先週の週末、電話したけど、いなかったね。どこかに行ったのかい。

メイホア：土曜日の晩、友だちと映画を見に行ったの。

民夫：　　なんだ、そうか。どうして言ってくれなかったんだい。会えなくて、がっかりしたよ。

メイホア：　いつもいっしょだから、たまには他の人と出かけたかったんだもの。

民夫：　　いつもいっしょで悪かったね。じゃあ、これからあまり誘わないようにしようかな。

メイホア：　そういうわけじゃないけど、時々他の人と話しをするのも楽しいもの。

民夫：　　じゃあ、僕も他の人を誘おうかな。ところでだれと出かけたんだよ。

メイホア：　カナダハウスの木村さんよ。一緒に行かないかって誘われたの。

民夫：　　あいつは、君と僕のこと知っているのくせに、いやなやつだな。

メイホア：　でもやさしくて、いい人だと思ったけど。

民夫：　　じゃあ、そんなによかったら、これからあいつと付き合えよ。

メイホア：　あら、やきもち焼いているの。珍しいね。

民夫：　　もし僕が他の女性と出かけたら、君はどう思うんだい。

メイホア：　大丈夫よ。私は慣れているから。

民夫：　　本当かな。一度だれか誘ってみるかな。

[喫茶店で]

民夫：　　さっきなぜあんなことを言ったんだい。木村と出かけたなんて、嘘だろう。

メイホア：　出かけたのは本当だけど、何人かでいっしょに行っただけ。

民夫：　　なあんだ、そうか。心配させられちゃったよ。

メイホア：　だって、あなたに私のこと安く思われたくなかったんだもの。

民夫：　　そんな風に思っていないから、大丈夫だよ。やきもちを焼かせたかったんだね。

メイホア：　ごめんなさい。でも、焼いてくれてうれしかった。

民夫：　　ばかだな。こっちは本当に心配しちゃったよ。僕はいつも君のことばかり考えているんだから。

メイホア：本当に。でも、男の人って、この間見た「卒業生」という映画の主人公のように行動するんでしょう。

民夫： 何言ってんだよ。そんなの人によって違うよ。

メイホア：そうかしら、あまり信用できないな。

民夫： なあんだ、今度はそっちがやきもち焼いているんじゃないか。

[語彙] Vocabulary

個性的(な)	こせいてき(な)	individualistic
扱う	あつかう	deal with, treat
感心(する)	かんしん(する)	(be) impressed
魅力	みりよく	attraction
変わり身	かわりみ	quick adjustment
観察(する)	かんさつ(する)	observation
偏見	へんけん	prejudice
断る	ことわる	excuse oneself; refuse
比較的(な)	ひかくてき(な)	comparative
装身具	そうしんぐ	accessories
化粧	けしょう	makeup
変化(する)	へんか(する)	change
乏しい	とぼしい	lacking
飽き(る)	あき(る)	get tired of
当然(な)	とうぜん(な)	natural
常に	つねに	always
新鮮(な)	しんせん(な)	fresh
保つ	たもつ	maintain, keep
努力(する)	どりよく(する)	effort
香港	ほんこん	Hong Kong
戻る	もどる	return
興味	きょうみ	interest
活動(する)	かつどう(する)	activity
非常に	ひじょうに	extremely

意を決する	いをけっする	make up one's mind
告白(する)	こくはく(する)	confession
卒業(する)	そつぎょう(する)	graduation
傷つける	きずつける	hurt
嘘	うそ	lie
失恋(する)	しつれん(する)	brokenhearted
仲間	なかま	company
なじる		rebuke, blame
寮	りょう	dormitory
隙間	すきま	gap
好意	こうい	affection
意思表示(する)	いしひょうじ(する)	express one's true feelings
誕生日	たんじょうび	birthday
貼る	はる	paste
幸せ(な)	しあわせ(な)	happy
有頂天	うちょうてん	ecstatic
誘う	さそう	invite
劇団	げきだん	theatre company
上演(する)	じょうえん(する)	performance
銀座	ぎんざ	Ginza
飯野ホール	いいのホール	Iino Hall
格好	かっこう	appearance, look
迎える	むかえる	meet
飾る	かざる	adorn oneself
薄化粧(する)	うすげしょう(する)	light makeup
変身(する)	へんしん(する)	transformation
見違える	みちがえる	look completely different
諸君	しよくん	boys
一斉に	いっせいに	all at once
素敵(な)	すてき(な)	gorgeous
鼻高々	はなたかだか	(be) extremely proud

ざまを見ろ		Serve you right.
翌日	よくじつ	the following day
早変わり(する)	はやがわり(する)	quick change
落差	らくさ	gap, difference
魅力的(な)	みりよくてき(な)	attractive
緊張感	きんちょうかん	tension
一途(な)	いちず(な)	with all one's heart, sincere
嫉妬(する)	しっと(する)	jealousy
態度	たいど	attitude
自尊心	じそんしん	pride, self-esteem
行為	こうい	conduct
さりげない		casual
心遣い	こころづかい	consideration
真摯(な)	しんし(な)	earnest
情熱的(な)	じょうねつてき(な)	passionate
馴れ合い	なれあい	cozy relationship
付かず離れず	つかずはなれず	keeping a proper distance
緊張関係	きんちょうかんけい	tense relationship
持続(する)	じぞく(する)	sustain, maintain
感情	かんじょう	feeling
素直(な)	すなお(な)	honest, sincere
教授	きょうじゅ	professor
呼び出す	よびだす	call
真面目(な)	まじめ(な)	serious
詰問(する)	きつもん(する)	cross-examine
鼻っ柱の強い	はなっぱしらのつよ い	hard-nosed
頭に来る	あたまにくる	get annoyed
記憶(する)	きおく(する)	remember
薄れる	うすれる	fade
真顔	まがお	with a serious look
戦争(する)	せんそう(する)	war

勘当(する)	かんどう(する)	disown
置いてきぼりにする	おいてきぼりにする	leave behind
大失恋(する)	だいしつれん(する)	major broken heart
痛手(を受ける)	いたで(をうける)	wound
恋愛(する)	れんあい(する)	love affair
異文化間コミュニケーション	いぶんかかんコミュニケーション	cross-cultural communication
交際(する)	こうさい(する)	going together
超える	こえる	go beyond
誘う	さそう	ask, invite
やきもちを焼く	やきもちをやく	get jealous
珍しい	めずらしい	rare
慣れる	なれる	get used ot
卒業生	そつぎょうせい	graduate
主人公	しゅじんこう	main character
行動(する)	こうどう(する)	action, behaviour
信用(する)	しんよう(する)	trust